

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊崎本庄小	学校	児童数	64
-----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.30	18.93	33.95	35.85	44.55	9.61	139.59	22.93	50.25
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.83	17.83	38.65	37.22	39.48	9.83	139.13	12.96	52.91
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は「ソフトボール投げ」が全国よりも2ポイント上回った。また、女子は、「20mシャトルラン」が全国よりも3ポイント上回り、「握力」は2ポイント上回っている。一方で、課題であった「20mシャトルラン」は、女子が昨年の数値を大きく上回る結果となった。他の種目に関しても、昨年に比べても、大阪市平均を上回る種目が増えている結果となっており、体力合計点については男女ともに全国、大阪市平均に近づく結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況は、肯定的な回答を見ると、全国平均が男子93.2%、女子86.2%に対して、本校は男子95.2%で、女子87.0%であり、男子がポイントを上回った。その一方で、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国平均が男子5.2%、女子16.0%に対して、本校は、男子2.6%、女子8.7%であり、学校外で体を動かす機会を持っていることを表す結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の学習では、運動場で行う際にサーキットトレーニングを行い、様々な動きを取り入れて、基礎体力の向上を図るとともに、整理体操にストレッチを取り入れ、柔軟性を高めるとともにけがの防止に努めた。また、「なわとび週間」や「かけ足週間」などを設定し、児童が目標をたて、意欲的に運動をできる環境を整えてきた。さらに、学校全体でなわとび大会やシャトルラン大会を実施するなど、目標を設定することで、取組に対して最後まで目標達成をめざして継続して取り組む姿が見られた。また、休み時間の運動場の割り当てを設定していたのを、いつでも全校児童が使用できるようにしたり、「ノーボールタイム」の設定をしたりするとともに、縄跳びなどの屋外での運動を行うように励行してきた。しかし、運動能力の低下（走る・跳ぶの運動など）は外遊びが減っていることにも原因があるように思われるので、休み時間にはボール運動以外に外遊びで楽しめるものを紹介するなどし、一層体力の向上に努める。今後も継続して、体育科の学習の中で、基礎体力の向上を意識した学習夢授業やステップアップ事業などの外部講師の活用するなど、児童が体を動かす楽しさや喜びを感じさせるとともに、大切さを考えさせ、児童の意欲と能力を高められる方策を講じていきたい。